

検体採取のポイント！

当社より、お送りする採水キットに必要なものがすべて入っております。
下記手順を参考に採水してください。

①以下のものをボックスから取り出してください



水ひしゃく、容器、ラベル、依頼書・見本等
※保冷材は冷凍庫へお入れください

②採水を行います

下記の採水の手順を参考に、採水作業を行ってください。

③分析依頼書兼試料採取記録をご記入ください

併せて書き方の見本も同封しておりますので、
ご参考にしてください。

※計量証明書に記載する内容も含まれておりますので
可能な限りご記入ください。

また、空欄の箇所については、
電話にて確認させていただく場合がございます。

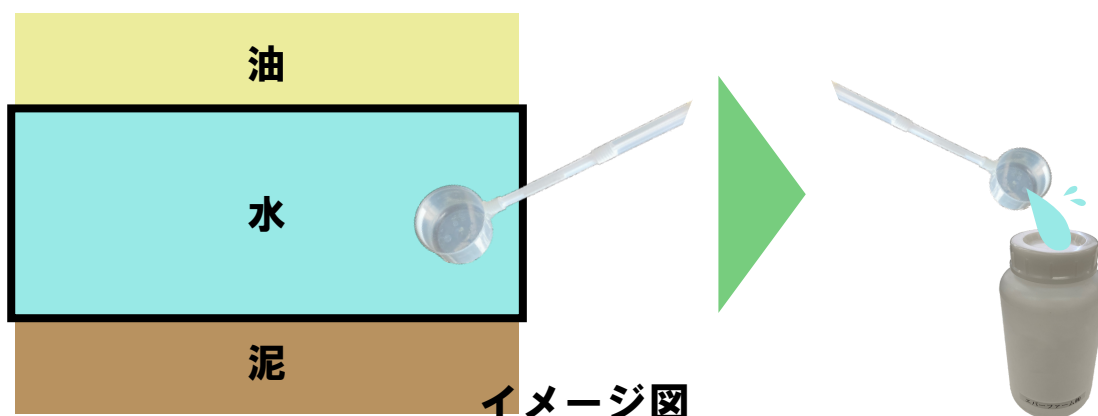
④ボックスをご返送ください

返送するものがすべて入っているかを確認したうえで
返送伝票（同封の着払い伝票）を
クーラーボックスにお貼りいただきご返送ください。

※保冷材は十分に冷やしてからご返送ください。

採水の手順

水質検査においては、下水道や河川に排出される直前の水を測定します。
その為、採水する試料は、イメージ図の「油」と「泥」の層を除いた
「水」の層のサンプルだけが容器に入るようにしてください。



1. 試料を採水する

油水分離槽の後に採水できるマスがありましたら、
そちらからお願いします。

そのような場所がなければ、油水分離槽の最終槽から採水してください。

※分離槽が複数ある場合は洗車機側の
油水分離槽の最終槽から採水をお願いします。

最終槽から採水する

捨てる！！

水だけを採水

入れない！！



2. 表面の部分を分離槽に戻す

ひしゃく内に入っている水の表面の部分は、
油水分離槽における「油」の層が含まれております。

その為、ひしゃくの表面の水は一度、分離槽に戻しておいてください。



表面の水は槽に戻す

※泥が入らないように！

3. 共洗いをする

ひしゃく内の底の「泥」の層が入らないように、
試料を容器に入れてください。
ポリ容器に5分の1程試料を入れたところで、
容器の内側を試料で洗い分離槽に戻します。
これを3回以上行ってください。

泥が入らないように
 $\frac{1}{5}$ の試料を入れ
3回以上洗う

3回以上
グルグル！



※ポリ容器でのみ行う作業になります。
ガラス容器では行わないでください！

4. 容器に試料を入れる

ひしゃく内の「油」の層と「泥」の層が入らないように、
試料を容器に入れてください。
3. 4. は試料の水質を排水直前の排水と
同じ状態にするために必要な作業です。

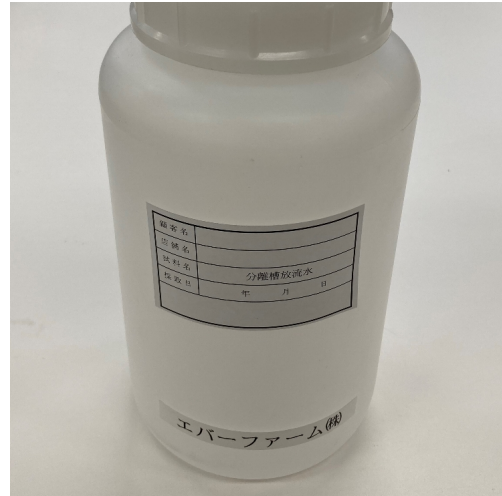


油と泥の層が
入らないように
容器に入れる

5. 容器にラベルを貼る

必要事項を記入し、容器に貼り付けます。

必要事項を記入し
ラベルを容器に貼る



採水時のお願い！

採水量と採水場所について

分析結果を正確に出すために、規定以上の試料が必要になりますので
採水はガラス容器に対して**9割程度**、
ポリ容器に対しては**満水**になるようにお願いします。
また、容器が複数ある場合は、それらすべてに
同一の場所からの採水をお願いします。

採水量注意！

